

渡子、北田酉子の談話、ピンセント及ハートリー等にて、其他五年級生徒の肉質入裁判の喜劇は最も面白く演ぜられたり、此他に英語の對話などもありしが、音聲何れも低くて聞き取り難かりしは残念なりき。十二時退散せり。

●同盟母の會大會　之は三月二十一日の午後零時半から神田の青年會館で開かれた。少時後れて往つたから開會の辭や開會の歌は聞くことができなかつたですが主の祈禱、体操、自由進行、輪の歌、同盟會祝歌、花の歌、鶯、農夫、水車、菓子屋、桃太郎、炭焼、鍛冶屋、武夫、五羽の家鳩などの唱歌や遊嬉を幼稚園の幼兒がするのを見ました。又此唱歌遊嬉の間に保母の五人武夫と良き子供の話、留岡幸助君の演説、その他獨吟があつた。留岡幸助君演説の大意は次の通である。教育は教

育の爲にするものではない、子供の爲にするのである。家庭教育上注意すべき事は、一、母の温情、二、子供を自由にすること、三、獨立心の養成、子供を神に紹介して最後の獨立に資すること、四、實力を以て社會に立つ考をいれる事、五、早く家庭より子弟を放すはよろしからず十五六才までは是非家庭に置くべき事、右等終つて祈禱があつて閉會になつた。

●子を持つた人の注意　織るが如き東京の街路に於て、幼き子供等が時に群をなして遊び戯れ、時に自轉車人力車等にしかれて危害を受くるのみならず、甚しく通行の妨害をなすことあるに由り此度警察署長會議に於て訓示されたる事項の中左の一項ありたりといふ。

街路の中央に於て兒童相集りて種々の遊戯を爲し爲に通行の妨げとなり随つて不測の危害を蒙むる者影からず特に日没の頃に